

☆ご採用事例 031☆

医療法人 花咲会 かわさき記念病院様

〒216-0013 神奈川県川崎市宮前区潮見台20-1



「急激に増加が予想される認知症疾患に対して、短期集中的な治療とケアに特化した、川崎市初の認知症専門病院です。

従来の病院での治療、ケアは通常の40床～50床の病棟単位で行われてきましたが、当院は各病棟を少数病床のユニット形式に分け小規模ケアを行います。

小規模ケアに取り組むことにより患者様は自分の生活圏を把握でき、短期間で心の安定や認知症の症状改善、進行予防に効果があると考えられます。

このケアは福祉先進国ではすでに取り組まれており、日本でもすでにグループホームや老健などで取り入れられておりますが、医療機関ではほとんど取り組まれていないのが現状です。

さらには、地域医療期間・施設、地域包括支援センター等と連携し、初期段階では判断が難しい患者様の専門医による診断、セミナーの開催など地域の中で認知症疾患対策の支援を進め、川崎市及び神奈川県での認知症疾患治療の中心的機関となるよう目指してまいります。」(かわさき記念病院様コメント)

■診療科目 精神科、神経内科 ■病床数 300床(50床×6病棟)
■ご採用台数 15台(1階3台、2階6台、3階6台)

＜ご採用のきっかけ＞

- ・医療法人花咲会の関連施設である「老人保健施設 レストラン川崎」にて、2014年の5月に取引先の勧めでデオダッシュのモニターテストをいたしました。脱臭テストをした場所は、共有トイレと排泄介助を必要としている入居者の居室で、2台をお借りし10日間使ってみて脱臭力を確認いたしました。
- ・これまで空気清浄機を使用したり、天井にオゾン脱臭機を設置したり色々対策を講じてきましたが、目に見える効果がなく困っておりました。デオダッシュをテストし問題が解決したことから、1年後の5月に開設予定の「かわさき記念病院」のトイレなどに、急遽デオダッシュを設置することにいたしました。

＜デオダッシュを設置したあとの状況＞

- ・今年5月1日に新規開設して1ヵ月しか経過していないことから、病院内の各場所には最初から臭いはない状態です。
- ・しかしながら、共有トイレや汚物庫では必ず臭いが発生するため、臭いの定着・廊下などへの流出を未然に防ぐよう、デオダッシュを自動運転モードに設定し、臭いが発生した時点で素早く対応するようしており、臭い問題は全くないようです。
- ・清掃と窓開け換気を徹底するよう常に指導していますが、デオダッシュを設置したことで、窓開けできない雨の日や夏場・冬場の外気温の変化の影響を受けることなく臭いの対策ができそうです。

オープン時に設置して本当に良かったです。【国井事務長様】

- ・開設時点で将来を見越してデオダッシュを設置しましたが、現時点で患者の皆様の入院生活や、ご来院の皆様に快適な環境が提供できたと考えております。
- ・当病院は各病棟を少数病床のユニット形式に分け、小規模ケアを行う入院施設として他の一般病院や老人施設から注目されており、来院された皆様の第一印象の中で、特に臭いは重要な位置を占めますので、デオダッシュを採用して良かったです。
- ・9月頃に4階もオープンしますので追加の台数も予定したいと考えております。



各階の広々とした清潔な談話コーナー。
ご来客様と入院患者の皆様の憩いの場です。



1階の来院者用トイレ入口に設置。



2階・3階の病棟の各ユニット共有トイレの隅に設置。



1階汚物庫のリフトエレベータの扉横に設置。